

第2回・子ども

和の作法教室

日本人として大切にしたい、畳の上での礼儀作法や伝統的な遊びについて、秋田市千秋公園内の「あきた文化産業施設・松下」の大広間で学ぶことができます。この教室は、文化庁の伝統文化親子教室事業の公的資金を活用していますので、無料で受講することができます。

日程 ※1

①	令和3年11月14日(日)	13:30~15:30	お菓子とお茶のいただき方
②	// 12月5日(日)	10:30~12:30	年賀状の書き方(宛名面)
③	// 12月19日(日)	13:30~15:30	年賀状の書き方(通信面)
④	令和4年1月9日(日)	13:30~15:30	ふれあい囲碁
②	// 1月30日(日)	13:30~15:30	和室での作法
⑥	// 2月20日(日)	13:30~15:30	五色百人一首



※1 教室の内容は変更されることがあります。①~⑤の各教室の後半に百人一首の練習があります。

場所 あきた文化産業施設松下 (千秋公園内)

対象 小学生で全6回中5回以上出席できる方

定員 先着20名 (保護者が同伴してください)

参加費 無料 (但し第1回目は茶菓代お一人1,000円 ※2)

※2 お子さん1名体験の場合は1,000円。保護者も一緒に体験する場合は2,000円です。



お申し込みは左のQRコード、または下記のTEL/FAX Mailにて、
①お子さんの氏名(漢字) ②お子さんの氏名(フリガナ)
③学校名/学年 ④引率される大人の氏名 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス
をお知らせください。TEL/FAX: 018-864-8100

Mail: m.wataru@aurora.ocn.ne.jp/村上弥 まで

主催: 特定非営利活動法人あきた花咲く教師カネット
(秋田県内の教員で作っているNPOです。)

協賛: 株式会社せん (あきた舞妓)

※3

※3 指導にあきた舞妓さんが参加していただくことがあります。
写真はイメージです。



五色百人一首 秋田県大会新聞2020

令和2年12月6日(日)。秋田市千秋公園内のあきた文化産業施設松下を会場に第13回五色百人一首秋田県大会が開催されました。今年秋田市内の小学校から18名の児童が参加。特定非営利活動法人あきた花咲く教師カネット主催『和の作法教室』に5回参加した子ども達が腕を競い合いました。

五色百人一首秋田県大会名誉会長よりご祝辞を頂戴しました



第13回五色百人一首秋田県大会のご開催を心よりお祝い申し上げます。間嶋理事長をはじめ開催にご尽力された関係皆様へ心より敬意を表します。日本の伝統文化が詰まった五色百人一首は、子どもたちにとって有意義で素晴らしいものであり、私のふるさと秋田でこのように毎年大会が開催されていますことを嬉しく思います。今年新型コロナウイルス感染症の影響で、皆様の生活に影響が出ていることと、思いますが、参加される皆様は、感染症対策を実施しながら、熱戦を繰り広げ、異なる学校や学年の仲間と友情の輪が広がりますことをお祈りいたします。

内閣総理大臣
菅 義偉 (すが よしひで)

衆議院議員 8期(自民党) 第99代内閣総理大臣 昭和23年秋田県生まれ 法政大学法学部卒



「ちはやふる」にも負けず!?
“百人一首”伝統文化に親しむ



五色百人一首
難しさに応じて色分けされた
20枚の札で競い合う



▲大会の様子が地元テレビ局、AKT 秋田テレビで放送されました。(令和2年12月6日(日)夕刻放送『LiveNews あきた』より)



【対戦結果】

- 《水色の部》
優勝 高橋穂 (泉5)
準優勝 宮川芙羽子 (旭川2)
3位 宮原ことか (泉4)
- 《桃色の部》
優勝 高橋穂 (泉5)
準優勝 宮川芙羽子 (旭川2)
3位 MTさん (3年)

☆グランドチャンピオン☆
高橋穂 (泉5)
水色・桃色の両方で優勝した高橋穂さんには一般社団法人全日本かるた協会より寄贈されたトロフィーが授与されました。

【参加者の声・子ども編】(アンケートより抜粋)

- 家だと真剣勝負をする人はかぎられるのでいろんな人とやれて楽しかったです。大会をつつじて百人一首が好きになりました。
- わたしは五色百人一首をやって、どっちも4位だったので、もう終わりだけれど、家で練習したいです。すごく楽しかったです。
- 五色百人一首大会にさんかしたのは初めてでした。この大会を知ることができたのも和の作法教室に来てのことなので感しゃの気持ちでいっぱいです。かるたをやるきっかけを作ってください、ありがとうございました。

【参加者の声・大人編】

- 子供達が真剣にとりくむ姿がすばらしかったです。
- これを機会に家でもやってみようと思います。
- 五色百人一首は親子で初めてでしたが、今日の大会にむけて協力して自宅でも練習をがんばりました。
- 大会ということで気合いを入れて練習してきました。緊張感の中で勝負できること、とても楽しんでいました。

★本大会にご参加、ご協力いただいた皆様どうもありがとうございました。
第14回大会は令和4年1月開催の予定です。